

11	〔村明細書上帳〕	正徳2 (1712)年	河原浜区有文書	P1803	No.3
----	----------	----------------	---------	-------	------

これは勢多郡河原浜村（現・前橋市河原浜町）が村の概況を報告した文書（村明細帳）です。村明細帳の提出先は、一般的には領主や巡見使などですが、本文書には書かれていません。

本文書の内容から一部を紹介しますと、当時は元禄期の古い検地帳が伝わっており（現存せず）、本文書（正式なもの）とともに村絵図を提出し（現在不明）、近くの「市場」として大胡町・前橋町・大間々町・伊勢崎町がありました。

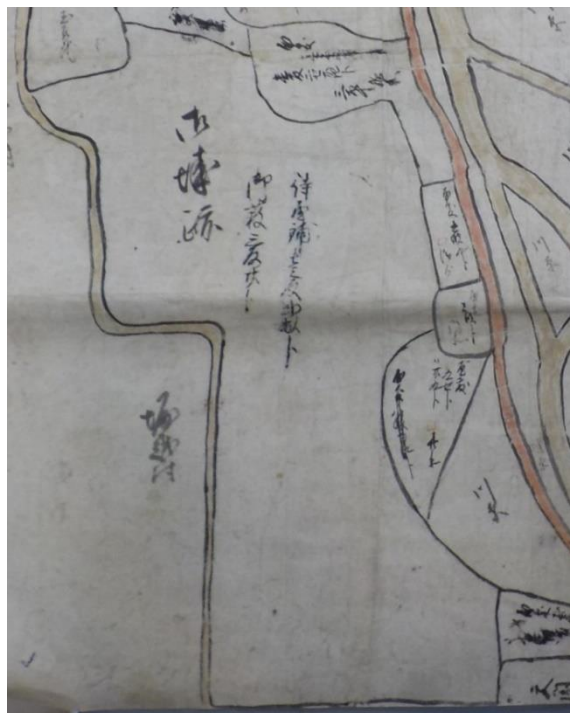
河原浜村の特色として興味深いのは、「藪」「屋敷」の項目です。「御城囲（かこい）」の内に3反20歩（＝約920坪）の「藪」が広がっていたこと、1反2畝歩（約360坪）の「侍屋敷」があったことがわかります。「御城囲」の城とは大胡城のことです。

なお、「〔河原浜村絵図〕」（No. 416）には、荒砥川（薄茶色の線）、道（赤色の線）の西側に広い「御城跡」があり、そこに「侍屋敷」「御藪」の語および上記の面積が記されています（下記画像）。

文書の続きには、薪は「赤城山野手」で採っていたこと、郷蔵（穀物を保管した村々の倉庫）があったこと、橋・堤・堰や用水の工事は村人で行ったこと、蒔（むしろ）・縄などを領主へ納めていたこと、などが書かれており、簡潔な報告ながら、人々の暮らしぶりがうかがえます。

上州の特色である養蚕業についても、年々当たり外れがあるので数量を報告するのは難しいけれども、「絹綿糸」を作って大胡町・前橋町で売買している、女性の「稼ぎ」は「糸・木綿・はた（機）」である、とあります。

百姓の家は93軒、人数は388人（男性115人、女性173人）でした。



一当村繪図差し出し候事  
 一当村日損場 拾町貳反六畝拾八歩  
 一当村 東西 道法 拾三丁  
 南北 同 廿丁  
 一分郷ござなく候

上野国勢多郡大胡西領  
 高五百廿壹石四斗壹升壹合 河原浜村  
 この反別九拾四町七畝拾三歩 江戸へ廿六里  
 三拾八町七反九畝廿八歩 田方  
 五拾五町三反拾貳歩 畑方  
 田方は年々検見(けみ)請け候  
 田方七奉へ検見 俵下

(表紙)

上野国勢多郡大胡西領

高五百廿壹石四斗壹升壹合 河原浜村

この反別九拾四町七畝拾三歩 江戸へ廿六里

三拾八町七反九畝廿八歩 田方

五拾五町三反拾貳歩 畑方

田方は年々検見(けみ)請け候

(中略)

一当村繪図差し出し候事

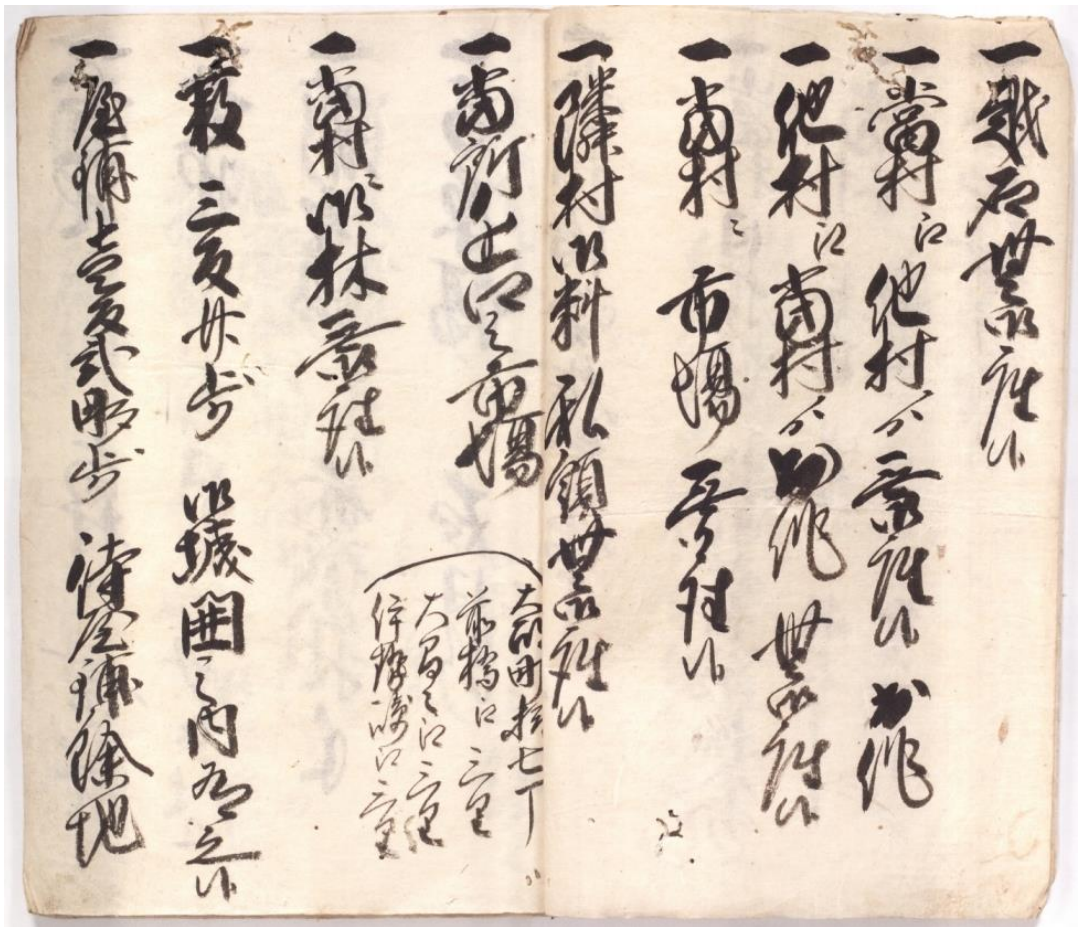
一当村日損場 拾町貳反六畝拾八歩

東西 道法 拾三丁

一当村

南北 同 廿丁

一分郷ござなく候



一越石ござなく候

一当村へ他村よりござなく候、出作

一他村へ当村より出作ござなく候

一当村に市場ござなく候

一隣村御料私領ござなく候

一当所近郷の市場

大胡町拾七丁  
前橋江三里  
大間々江三里  
伊勢崎江三里

一当村に御林(おはやし) ござなく候

一藪(やぶ) 三反廿歩 御城圍の内これ有り候

一屋鋪 壹反式畝歩 侍屋鋪除地

(後略)